

富山高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	原価企画論Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0159			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	国際ビジネス学科			対象学年	5		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	適宜指示。						
担当教員	塩見 浩介						
到達目標							
1. 企業等における実践的な原価企画について更に理解する。 2. 企業等における実践的な経営企画について更に理解する。 3. 企業等における実践的な経営分析について更に理解する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	企業等における実践的な原価企画について詳しく説明出来る。			企業等における実践的な原価企画について説明出来る。		企業等における実践的な原価企画について説明出来ない。	
評価項目2	企業等における実践的な経営企画について詳しく説明出来る。			企業等における実践的な経営企画について説明出来る。		企業等における実践的な経営企画について説明出来ない。	
評価項目3	企業等における実践的な経営分析について詳しく説明出来る。			企業等における実践的な経営分析について説明出来る。		企業等における実践的な経営分析について説明出来ない。	
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー 1							
教育方法等							
概要	前期に学習した原価企画論Ⅰの実践的な経験を基礎として、原価企画・経営企画・経営分析についての更なる発展的な知識の習得を目的に講義を行う。						
授業の進め方・方法	実際の企業における経営企画（含む原価企画）について更に理解し、「実践経験をもとにした伝統的な日本企業経営の在り方」について学習し、真の企業価値とは何かについての経営分析能力を高める。 事前に行う準備学習：前回の講義の復習および予習を行ってから授業に臨むこと （授業外学習・事前）授業内容を予習しておくこと （授業外学習・事後）授業内容の復習を行うこと						
注意点	本科目では、60点以上の評価で単位を認定する。 評価が60点に満たない者は、願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者にとっては、その評価を60点とする。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション		後期の授業の進め方等についての説明を行う。		
		2週	伝統的日本企業経営とは①		伝統的日本企業経営について学習する。		
		3週	伝統的日本企業経営とは②		伝統的日本企業経営について学習する。		
		4週	伝統的日本企業経営とは③		伝統的日本企業経営について学習する。		
		5週	企業経営分析Ⅰ		実際の企業経営について経営分析を行う。		
		6週	企業経営分析Ⅰ		実際の企業経営について経営分析を行う。		
		7週	企業経営分析Ⅰ		実際の企業経営について経営分析を行う。		
		8週	企業経営分析Ⅱ		実際の企業経営における不祥事について分析を行う。		
	4thQ	9週	企業経営分析Ⅱ		実際の企業経営における不祥事について分析を行う。		
		10週	企業経営分析Ⅱ		実際の企業経営における不祥事について分析を行う。		
		11週	企業経営分析Ⅲ		企業経営における真の利益・資産とは何かについて学習する。		
		12週	企業経営分析Ⅲ		企業経営における真の利益・資産とは何かについて学習する。		
		13週	企業経営分析Ⅲ		企業経営における真の利益・資産とは何かについて学習する。		
		14週	復習		これまでの授業内容全てについて復習する。		
		15週	期末試験		これまでの授業内容全てをもとにして、レポート課題を課す。		
		16週	総括		授業のまとめ。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	課題			その他		合計	
総合評価割合	75			25		100	
基礎的能力	75			25		100	